

JREU TOKYO 業務部速報



2025. 6. 15 No.092

発行：JR東労組東京地本 業務部

2025年度 駅業務関係施策（その1）について提案を受けました！①

J R東労組東京地本は首都圏本部より、グループ経営ビジョン「変革2027」の実現に向け、効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築し、J R東日本グループの持続的な成長につなげていくため、以下のとおり駅の運営体制の見直しを行う。と提案を受けました。

1 実施内容および実施日

実施内容		実施日
新宿統括センター (御茶ノ水駅)	ホーム体制の見直し (遺失物取扱所移転)	2025年 7月 1日
上野統括センター (尾久駅・三河島駅)	改札体制の見直し (お客さまサポートコールシステム運用拡大)	2025年10月 1日

2. 提案箇所体制について

		現 行					改 正					記 事
		変形等	変形等	乗務員 日勤	泊	計	変形等	変形等	乗務員 日勤	泊	計	
新宿統括センター	管理	22	14			36	22	14			36	御茶ノ水駅 <u>-1 徹</u>
	一般	32	95	30	35	192	32	94	30	35	191	
上野統括センター	管理	25	12			37	25	12			37	尾久駅 <u>-1 徹、+1 日勤</u> 三河島駅 <u>-1 徹、+1 日勤</u>
	一般	27	53	25	45	150	29	51	25	45	150	

※ 業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

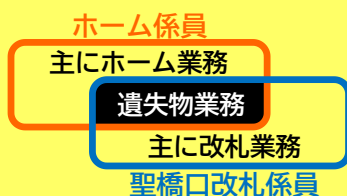
3. 具体的な内容

新宿統括センター（御茶ノ水駅）

遺失物取扱所を1・2番線のホーム事務室から聖橋口改札へ移転し、お客さまに分かりやすいご案内体制を構築する。

- ▶ ホーム業務を1徹減とし、1・2番線ホーム事務室を無人とする。
- ▶ 1・2番線ホームの乗降終了表示は、これまで通りとする。

体制変更後の遺失物業務イメージ

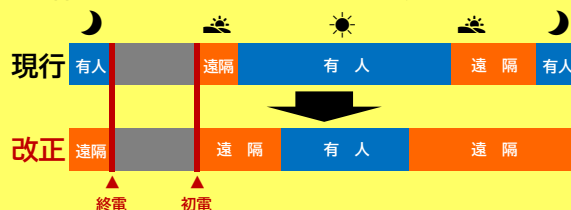


上野統括センター（尾久駅・三河島駅）

お客さまサポートコールシステムの運用時間を拡大することで、常に改札に立っている時間を減らし、柔軟な働き方を推進する。制御駅は引き続き田端駅で行う。

- ▶ 両駅ともに改札業務を日勤のみとする。
- ▶ 遠隔対応時間が拡大する田端駅の体制変更はない。

お客さまサポートコールシステム運用拡大イメージ



※ 施策実施に向けて教育・訓練等の必要な準備を進めていく。

②へ続く➡